

令和元年度 総合計画進行管理対象主要事業の進捗状況について (1月末現在)

I 「子育て・教育の未来都市」の実現に向けて(子育て・教育・学習 分野)

No	項 目 ○進行管理対象内容 (所管課)	●令和元年度の主な事業内容 ⇒令和元年度事業内容の達成のための取組(1月末現在)
1	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 ●子育てと仕事の両立支援の充実 ●困難を抱える子どもへの支援 (子ども未来課) (子ども家庭課) (保育課)	●子育てと仕事の両立支援の充実 ◆保育需要に対応した教育・保育施設等の着実な整備 ⇒事業者として決定している教育・保育施設等の施設整備 【4施設 220名分の整備(0～5歳児)】(10月末現在) ◆「利用定員の弾力化」を活用した待機児童解消 ⇒定員の弾力化 入所率(113.8%) 待機児童ゼロ(10月1日現在) ◆関係機関と連携した保育士等の確保・育成 ⇒本市独自の取組 5月 東京圏の指定保育士養成施設への訪問 6月 ・ 潜在保育士掘り起しチラシ自治会回覧 ・ 高校生等向けに保育体験会を実施【参加者：94名】 6月～ ショッピングモールにおける求人情報の提供など保育士確保PR【相談件数：13件】 7月 Uターン就職促進事業である「じぶん×未来フェア」において、保育士養成のブースの設置 【参加者：148名】 11月 潜在保育士掘り起しチラシ自治会回覧 ⇒「とちぎ保育士・保育所支援センター」事業 7月 保育のお仕事就職フェア開催【参加者：118名】 12月 保育のお仕事就職フェア(県央)【参加者：47名】 【保育士・保育所支援センターを通じた就職者68名(市内就職者40名)】 【相談件数 2,746件(1月末現在)】 ◆幼児教育無償化への着実な対応 ⇒実施に向けた制度設計、周知 4月～ 市ホームページ、広報紙による周知(延べ4回) 5月 市子ども・子育て会議において制度概要等説明、意見聴取 5月～ 事業者説明：認定こども園、幼稚園、認可外保育施設、保育所(延べ6回) 7月 入所・無償化に関する市民説明会(6か所) 施設を通して、利用者へ認定申請書の配布、受付 9月 対象となる利用者へ認定通知書、副食費免除通知書を送付 認可外保育施設における対象施設を告示 10月 幼児教育無償化の実施 ●困難を抱える子どもへの支援 ◆子どもの貧困や虐待の未然防止の推進 ⇒子どもの貧困予防対策の構築 ⇒児童虐待の未然防止・早期発見・早期対応策の充実・強化 5月～ 「栃木県社会的養育推進計画」策定に関する会議に参画(計画骨子等を協議) 7月 「子ども・子育て会議」における意見聴取 (現行「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」の評価、新計画の基本理念の設定) 10月 「子ども・子育て会議」における意見聴取 (新計画の施策体系と基本施策、理想像等の設定) 中核市市長会「児童虐待防止プロジェクト」に参画(提言等を協議)

2	教育環境の充実 ●宇都宮学の推進 ●学校施設の計画的な整備・更新 ●不登校対策の推進 (学校教育課) (文化課) (生涯学習課) (学校管理課) (教育センター)	●宇都宮学の推進 ◆「宇都宮学」副読本等の内容充実 ⇒ 「宇都宮学」副読本等編集委員会での内容検討 7月～ 「宇都宮学」編集委員会の開催（副読本及び指導計画について） (7/4, 8/23, 9/24, 11/8, 12/13) 9月～ 庁内関係各課会議の開催(9/19) ◆「宇都宮学」実施に向けた学校との調整 ⇒ 授業時間数や総合的な学習の時間における実施についての調整 ⇒ 「市施設めぐり」の見学候補地の拡充についての検討 6月～ 校長会との意見交換会での意見聴取(6/4, 10/8) 7月～ 校長会議での説明(7/2, 11/19) ◆授業を担当する教員の指導力向上 ⇒ 指導力向上のための研修会の開催 ⇒ 実施に向けた学校への支援 1月～ 「宇都宮学」担当者研修会の実施(1/10) 「宇都宮学」指導計画・評価計画の送付(1/31)
		●学校施設の計画的な整備・更新 ◆新設小学校の整備に向けた着実な工事の実施 ⇒ 適切な進行管理による着実な工事の実施 4月 校舎新築工事の実施(H30～R2年度) 10月～体育館・プール新築工事の実施(～R2年度) ◆学校施設長寿命化計画の策定に向けた対応 ⇒ 適切な進行管理による着実な計画策定 4月～学校施設長寿命化計画の計画内容の検討 6月～学校施設長寿命化計画策定支援業務委託の実施
		●不登校対策の推進 ◆不登校に係る原因の分析 ⇒ 各種調査の実施・分析 4月 「長期欠席に関する実態調査」の実施 4～7月 「子どもと子育て家庭等に関する生活実態調査」及び「長期欠席に関する実態調査」の分析 7～10月 分析結果を基にした支援策の検討 10月～ 「上半期長期欠席に関する実態調査」の実施・分析 12～1月 「不登校対策に係る取組状況調査」の実施・分析 ◆不登校を生まない学級経営及び学校の不登校対応力の向上 ⇒ 学校における不登校の未然防止及び不登校対応力の向上に係る取組 4月～ 教職員向け指導資料の作成・配付 教職員研修の実施 学校訪問による指導助言 6月 全小・中学校におけるQ-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の実施・活用 8月 第1回「学級経営力向上プロジェクト」会議の開催 9～10月 学校訪問による聞き取りの実施・分析 11月 第2回「学級経営力向上プロジェクト」会議の開催 全小・中学校（小学5年生、中学2年生）におけるQ-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）の実施・活用 1月 学校訪問による聞き取りの実施・分析 第3回「学級経営力向上プロジェクト」会議の開催 ◆学校の実情や児童生徒の状況に合わせた不登校支援の充実 ⇒ 学校の不登校対策の充実に係る取組 4月 児童生徒指導推進強化全体会の開催 4月～ 全中学校へのメンタルサポーター（MS）の配置 スクールカウンセリングマネージャー（SCM）連絡会及びMS連絡会の開催 5～9月 MSの効果的な活用・別室登校支援の充実を図るための学校訪問による指導助言 6月～ 別室登校支援学生ボランティアの派遣

3	宮っ子ステーション事業の充実 (生涯学習課)	◆子どもの家等の施設整備や指導員の確保 ⇒ 子どもの家の施設整備 6月 R2年度利用希望調査実施 9月 独立棟建設に向けた工事着手(3校) ⇒ 指導員の確保 4月～ 民間広告媒体を活用した指導員募集開始 広報紙において人材登録制度を周知 ◆子どもの家等事業の運営体制等の再構築 ⇒運営体制等の検討 4月 運営に関するアンケート調査実施(運営委員等) 7月 第5回子どもの家等事業に係るあり方に関する懇談会開催 8月 子どもの家連合会との意見交換 第6回子どもの家等事業に係るあり方に関する懇談会開催 10月 運営規模・区域、組織体制を決定 12月 第7回子どもの家等事業に係るあり方に関する懇談会開催 1月 第8回子どもの家等事業に係るあり方に関する懇談会開催 利用料金案等を公表
4	スポーツ環境の充実 ●北西部地域への体育施設整備推進 ●国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備 (スポーツ振興課) (国体推進課)	●北西部地域への体育施設整備推進 ◆施設機能の精査及び建設候補地の選定に向けた取組 ⇒ 施設機能・規模及び建設候補地の検討 4月～ 北西部地域体育施設整備基本計画策定支援業務委託の実施に向けた施設のイメージ・特色等の精査 11月 北西部地域体育施設整備基本計画策定支援業務委託契約の締結 ●国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備 ◆市民の大会開催への認知度の向上と機運の醸成に向けた取組 ⇒大会開催の広報活動や市民運動の推進 ⇒企業等を対象とした協賛事業の実施 ・広報活動、市民運動 5月 「フェスタmy宇都宮」へPRブース等出展(以降、各種イベントへ計9回出展) 6月 市内小・中学校の全児童・生徒へ国体概要パンフレット配付 国体専用ホームページ制作業務委託(～3月) 7月 市内小・中学校へイメージソング「いちご一会」・いちご一会ダンスのCD・DVDの配付 国体開催正式決定を受け、広報塔(2基)による国体開催周知開始 8月 「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会宇都宮市実行委員会」の設置 9月 国体専用ホームページ・SNS運用開始 市広報紙やラジオ、市民ホールにおける国体パネル展示による国体開催PRの実施 12月 JR宇都宮駅西口広報塔の設置 1月 第77回国民体育大会999日前イベント・国体カウントダウンボード点灯式開催 国体専用ホームページで応援メッセージ付きカウントダウン写真の掲載開始 ・協賛事業 4月～ 第77回国民体育大会宇都宮市協賛取扱要項の運用開始 5月～ 各工業団地・商工会議所等(計7団体)へ協賛募集パンフレット配布・説明 9月 市広報紙、宇都宮商工会議所会報紙による協賛募集の周知 市内企業2者から協賛車両2台を受領し、引渡式及び感謝状贈呈式を開催 12月 市内団体1者からJR宇都宮駅西口広報塔のリニューアルの協賛を受領、感謝状贈呈式を開催

Ⅱ 「健康・福祉の未来都市」の実現に向けて（健康・福祉・医療 分野）

No	項 目 ○進行管理対象内容 (所管課)	●令和元年度の主な事業内容 ⇒令和元年度事業内容の達成のための取組（１月末現在）
5	健康づくりの推進 ●健康ポイント事業の推進 ●受動喫煙防止対策の推進 ●地域・職域連携による健康づくりの推進 ●地域別データ分析の推進 (健康増進課) (高齢福祉課) (保健福祉総務課) (保健予防課) (保険年金課)	●健康ポイント事業の推進 ◆市民の積極的な参加促進と協賛企業の確保 ⇒ 市民や企業の積極的な参加を促進する取組の実施 ４月～ 市ホームページ、市広報紙等を活用した事業周知 各種団体等と連携した事業周知と協賛企業の確保 企業ぐるみの参加に向けた企業訪問を開始 アプリ参加者のポイント交換開始 ６月 活動記録票参加者のポイント交換開始 １０月 イベントでの事業周知（食育フェア、ウォーキングフェスタ） １１月 抽選物品の配布開始 【参加人数：１６，２５７人（１月末現在）、目標人数：２２，０００人（令和４年度末）、 協賛企業数：６１社（１月末現在）】 ●受動喫煙防止対策の推進 ◆法改正に伴う市内事業者への周知啓発と市民の理解促進 ⇒ 市内事業者の改正法への対応や市民の受動喫煙防止対策への理解を促進する取組の実施 ４月～ チラシを活用した市民・事業者向け周知 ６月～ 各種事業者団体と連携した説明会の実施【２９回（１月末現在）】 ラジオ放送等を活用した周知 ７月 市広報紙を活用した周知 改正健康増進法の一部施行（学校、病院、児童福祉施設、行政機関） ９月 栃木県との共催による事業者向け受動喫煙対策説明会の実施 市内飲食店（約４，０００店）への個別通知による周知 １月 喫煙可能室設置施設届出受理開始 届出受理開始について市ホームページ及び市内飲食店（約４，０００店）へ個別通知による周知 ※ 令和２年４月 改正健康増進法の全面施行 ●地域・職域連携による健康づくりの推進 ◆健康づくりに取り組む事業所の拡大 ⇒ 事業所における健康づくりを促進する取組の実施 ５月～ 事業所に対する健康情報の提供 第１回地域・職域連携推進協議会の開催 ６月～ 栄養士等の専門職を職場に派遣した健康講座の実施【３４事業所（１月末現在）】 ７月～ 協議会構成団体等の既存事業と連携した健康教育の実施 第１回地域・職域連携推進協議会保険者部会及びワーキング会議の開催 ９月～１０月 健康づくり事業者表彰の募集 １０月 第２回地域・職域連携推進協議会保険者部会及びワーキング会議の開催（市ＨＰ上に開設する「(仮称)働く人・職場の健康づくり応援サイト」の具体化） １２月 第２回地域・職域連携推進協議会の開催 １月 健康づくり事業者表彰式（２１社）及び働く人の健康づくり講演会の開催 「職場における健康づくり応援サイト」の開設 ●地域別データ分析の推進 ◆地域別の健康課題の抽出に向けた多角的な調査・分析 ⇒ 学識経験者からのアドバイスを受けながら、国保データベースや市民アンケート調査結果など様々なデータを組み合わせた調査・分析を実施 ６月 調査業務の委託契約、外部アドバイザーとの意見交換 １０月 地域包括ケア推進会議において分析の視点等に係る意見聴取を実施 １１月 社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会において分析の視点等に係る意見聴取を実施 １２月 国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の手引き」を踏まえた市民アンケート調査の実施 １月～ 地域別データ分析（地域の健康課題の抽出等）のとりまとめ
6	地域包括ケアシステムの 深化・推進 ●地域療養支援体制の	●地域療養支援体制の推進 ◆地域共生社会の実現を見据えた地域包括ケア推進会議の充実 ⇒ 医療・介護連携や認知症対策、生活支援に係る検討、医療・介護従事者向け研修の企画・実施 ５月～ 推進会議及び各検討部会の実施

推進 ●高齢者の日常生活支援の充実 ●介護人材の確保 ●地域別データ分析の推進（再掲） ●社会福祉施設等の整備促進 （高齢福祉課） （保健福祉総務課） （保健所総務課） （健康増進課）	6月～ 従事者向けスキルアップ研修の実施 9月 認知症への理解促進に向けた市民公開講座の実施【381人参加】 11月 市広報紙に「人生会議」に係る特集を掲載 「人生会議」への理解促進に向けた市民公開講座の実施【137人参加】 ◆入退院支援に係る医療・介護連携の促進 ⇒ 入退院支援における医療機関とケアマネジャー等との連携強化に向けた意見交換会の実施、地域包括ケア推進会議（地域療養支援部会）において連携状況に係る効果検証の実施 6月～ 地域包括ケア推進会議（地域療養支援部会）の実施 11月 地域療養支援部会において、入退院支援に係る診療報酬・介護報酬の改定などを踏まえた入退院支援手順書の改訂について協議 1月 入退院支援手順書の改訂 ◆関係機関との連携による効果的な認知症初期集中支援 ⇒ 認知症初期集中支援チームの対応力の向上に向けた研修・事例検討会の開催や医療・介護等の関係機関との役割分担・連携方法の検討 7月～ 地域包括ケア推進会議（認知症対策部会）の実施 6月～ 円滑に認知症の診断や支援につなげるため、初期集中支援チームを編成【2チーム（1月末現在）】 9月 従事者向けスキルアップ研修の実施【187人参加】 1月 認知症対策部会において認知症初期集中支援チームの実績について意見聴取を実施 ●高齢者の日常生活支援の充実 ◆第2層協議体の設置促進、生活支援コーディネーターの配置・育成 ⇒ 各種団体への事業説明や、地域における勉強会の開催支援の実施 4月～ 第2層協議体の設置促進に向けた各種団体への事業説明 各地区において、第2層協議体設置に向けた勉強会を開催 第2層協議体を設置した地区においては、取組を進めながら生活支援コーディネーター適任者を選定 8月 地域支え合い活動の充実に向けた市民公開講座の実施【194人参加】 1月 設置された第2層協議体間の情報共有や、未設置地区への情報提供に向けた情報交換会を実施【参加地区数：30地区】 【第2層協議体設置 19地区（1月末現在）】 ●介護人材の確保 ◆安定的な介護人材の確保に向けた施策の立案・実施 ⇒ 不足している若年層の介護人材確保に向け、関係機関・団体へのヒアリング調査の実施や新規卒卒者を中心とした新たな介護人材確保策の検討 7月 第1回栃木県介護人材確保対策連絡調整会議への参画 若年層の介護人材確保に向け、市内の介護福祉士養成機関へのヒアリング調査 10月 「わくわく地方生活実現政策パッケージ」に係る県の企業情報提供サイト（マッチングサイト）の本格運用に合わせ、移住支援金の申請受付開始 第2回栃木県介護人材確保対策連絡調整会議への参画 ◆介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の推進によるサービス提供体制の確保 ⇒ 訪問型サービスAの従事者養成研修の実施、NPOや各種団体に対する事業説明や意見交換の実施 4月～ 訪問型サービスAの利用促進に向けた地域包括支援センターに対するサービス利用事例の情報提供 7月～ 訪問型サービスAの従事者養成研修の実施【42人修了】 ●地域別データ分析の推進（再掲） ◆地域別の健康課題の抽出に向けた多角的な調査・分析 ⇒ 学識経験者からのアドバイスを受けながら、国保データベースや市民アンケート調査結果など様々なデータを組み合わせた調査・分析を実施 6月 調査業務の委託契約、外部アドバイザーとの意見交換 10月 地域包括ケア推進会議において分析の視点等に係る意見聴取を実施 11月 社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会において分析の視点等に係る意見聴取を実施 12月 国の「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の手引き」を踏まえた市民アンケート調査の実施 1月～ 地域別データ分析（地域の健康課題の抽出等）のとりまとめ
--	---

	●社会福祉施設等の整備促進 ◆高齢者施設の着実な整備 ⇒ 広域型特別養護老人ホームの整備（新・増設１００床，ショートステイ床からの転換２０床） ３月 新設６０床 工事着工 ７月 ショートステイ床からの転換（１０床） ９月 増設４０床 工事着工 １０月 ショートステイ床からの転換（１０床） ⇒ 地域密着型サービスの整備 ・認知症高齢者グループホーム（５４床），（看護）小規模多機能型居宅介護（２事業所） ４月 整備事業者の受付 ５月 整備事業者の審査 ６月 整備事業者の選定（ＧＨ１８床，小規模１事業所） １０月 整備事業者の再公募（ＧＨ３６床，小規模１事業所） ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護（２事業所） ４月 整備事業者の募集開始 ７月 整備事業者の受付・審査 ９月 整備事業者の選定（１事業所） １０月 整備事業者の再公募（１事業所）
--	--

Ⅲ 「安全・安心の未来都市」の実現に向けて（安心・協働・共生 分野）

No	項 目 ○進行管理対象内容 (所管課)	●令和元年度の主な事業内容 ⇒令和元年度事業内容の達成のための取組（１月末現在）
7	総合的な治水・雨水対策の推進 ●治水・雨水対策推進体制の強化 ●溢水等対策事業の推進 ●道路排水施設整備事業の推進 ●公共下水道（雨水幹線）の整備 （河川課） （道路保全課） （下水道建設課）	●治水・雨水対策推進体制の強化 1 1 月 雨水対策強化推進チーム設置 対策内容検討開始
		●溢水等対策事業の推進（河川） ◆奈坪川整備の円滑な推進 ⇒ 奈坪川整備の実施 【東町工区】 4 月 競輪場通り橋梁架け替え工事説明会開催 競輪場通り橋梁架け替え工事発注 ◆新川江曾島調節池整備の円滑な推進 ⇒ 新川江曾島調節池整備の実施 【調節池本体】 1 0 月 調節池掘削工事発注 【流入部】 5 月 流入部築造工事発注 1 月 流入部築造工事完了 【分水施設】 7 月 分水施設築造工事発注
		●道路排水施設整備事業（道路） ◆効果的な道路冠水軽減の推進 ⇒ 排水整備工事の実施 【光ヶ丘団地】 7 月 中流部の排水管整備工事完了 1 0 月 上流部の排水整備工事発注 ⇒ 道路冠水対策の検討 【御幸ヶ原町地区】 6 月～ 道路冠水原因の調査開始 7 月～ 現地調査及び既存排水施設の確認 9 月～ 道路冠水軽減に向けた対応策の検討 1 2 月 道路冠水原因の調査完了 【末広 2 丁目地区】 6 月～ 道路冠水原因の調査開始 7 月～ 現地調査及び既存排水施設の流下能力の確認 9 月～ 道路冠水軽減に向けた対応策の検討 1 2 月 道路冠水原因の調査完了
		●公共下水道（雨水幹線）の整備（下水道） ◆新重点排水区における着実な事業の推進 【平出工業団地関連】 ⇒ 平出工業団地関連排水区越戸川 6 号幹線の整備 4 月 整備スケジュールの調整 6 月 関係自治会への工事内容の説明 1 0 月 越戸川 6 号幹線工事の発注 1 月 越戸川 6 号幹線工事の一部契約 越戸川 6 号幹線工事の未契約部の再発注 【駒生川第 4・中丸川】 ⇒ 駒生川第 4・中丸川排水区の整備に向けた整備手法の検討 5 月～ 基本設計業務委託発注 1 1 月 中丸川排水区については、業務委託完了 【鬼怒川関連】 ⇒ 岡本台調整池の整備に向けた事前調整 5 月～ 整備スケジュールの調整開始 【江川第 4】 ⇒ 江川幹線の整備に向けた事前調整 5 月～ 被害状況に応じた整備手法の検討開始

8	市民協働の推進 ●まちづくり活動応援事業の本格実施 (みんなでまちづくり課)	●まちづくり活動応援事業の本格実施 ◆活動者や実施団体が分かりやすく参加しやすい事業の確立と周知啓発 ⇒ 「まちづくり活動応援事業」の構築及び、事業周知と活用促進 ～5月 試行運用の実施(平成31年2月～) 6月～7月 試行運用の課題検証、事業構築 8月～ 事業説明会の実施(地域団体等) 11月～ 本格運用の実施【登録者数(1月末) 活動者:883人, 実施団体:79団体】
9	女性活躍の推進 ●企業等との連携による女性活躍の推進 ●女性の就労・居住の促進 (男女共同参画課) (産業政策課) (住宅課)	●企業等との連携による女性活躍の推進 ◆仕事と子育て家庭のインターンシップうつのみや事業の参加学生・協力企業・子育て家庭の確保と、実施後の取組成果等の効果的な情報発信 ⇒ 仕事と子育て家庭のインターンシップうつのみや事業の実施 4月～ 実施手法などの検討 8月 「みやシャイン女性活躍推進協議会」の開催 (参加学生の受入等に対する協力依頼) 12月 「仕事と子育て家庭のインターンシップうつのみや事業」業務開始 参加学生の募集 1月 キャリア形成講座「仕事と結婚、子育てを考える未来の自分」の実施【参加者17名】 1月～ 参加学生と受入企業・家庭とのマッチング ◆女性活躍推進一般事業主行動計画の策定機運を高める効果的な周知 ⇒ 女性活躍推進一般事業主行動計画の策定促進 4月～ リーフレットの活用方法・掲載内容の検討 8月 リーフレット作成業務開始 1月～ リーフレットを活用した周知啓発 社会保険労務士による出前相談の実施 ●女性の就労・居住の促進 ◆女性雇用の受け皿となるオフィス企業の立地支援補助金の更なる利用促進 ⇒ オフィス企業立地支援補助金の利用促進 ⇒ 空きオフィスバンクの運用 6月～ オフィス企業立地支援補助金の従業員規模要件の見直し(単独事業所の場合6名以上) 11月 宇都宮市企業誘致セミナーin東京の開催【68社, 130名参加】 ～1月 オフィス企業立地支援補助金の申請受付【実績4社】 空きオフィスバンクの登録【実績5件】 東京圏を中心とした企業や支援機関等への補助制度等の周知 ◆女性の移住・定住を促進する住宅施策の周知と仕組みの充実 4月～ 移住定住アプリ等による周知活動の展開 家賃補助の申請受付開始【実績3件】

IV 「魅力創造・交流の未来都市」の実現に向けて（魅力・交流・文化 分野）

No	項 目 ○進行管理対象内容 (所管課)	●令和元年度の主な事業内容 ⇒令和元年度事業内容の達成のための取組（１月末現在）
10	大谷地域の振興と大谷石文化の魅力発信 ●地域資源を活かした持続可能な地域振興の推進 ●観光地域づくりを支える機能の充実 ●『日本遺産 大谷石文化』の魅力発信の推進 (都市魅力創造課) (観光交流課) (文化課) (地域政策室) (景観みどり課) (農業企画課) (農林生産流通課)	●地域資源を活かした持続可能な地域振興の推進 ◆冷熱エネルギーを活用した新たな事業の具体化 4月～ 冷熱エネルギーを効果的に活用した半地下型ハウスの構築に向けた検討開始 ◆「大谷夏いちご」への新規参入企業の誘致 ⇒ 夏秋いちごの産地化に向けた農地の確保・企業参入支援（大谷地区） 4月～ 夏秋いちごの産地化に向けた地元説明 地権者と耕作者との農地利用調整 6月 参入企業の生産開始に向けた営農計画の作成支援 7月～ ほ場整備の実施に向けた基礎調査等の実施 8月 農地耕作条件改善事業の実施に係る国庫補助事業の採択申請 10月 事業計画概要（案）の作成 11月 ほ場整備に係る地元説明会の開催及び共同施行体の設立 12月 土地改良法に基づく事業認可申請 ●観光地域づくりを支える機能の充実 ◆観光交通ネットワークの向上 ◆大谷地域の観光周遊拠点性の向上 ⇒ 交通環境向上に向けた取り組みの実施 5月 大谷地域観光交通社会実験の実施（GW期間） ・ SNS等での交通状況発信 ・ 既存駐車場の運用改善 ・ パークアンドバスライド及びグリーンスローモビリティの運行 7月 旧大谷公会堂の移築に係る最優先候補地を公表 交通インフラのあり方に係る調査開始 8月 大谷地域観光交通社会実験の実施（お盆期間） ・ ICTを活用した駐車場情報の発信 ・ 冷熱エネルギーを活用したクールスポット設置 ・ 自動運転車両の運行 11月～ 森林公園及び周辺地域を活用した体験型コンテンツの事業開始 ※ 2月 飲食店2店舗が立地誘導エリア内に新規出店 ●『日本遺産 大谷石文化』の魅力発信の推進 ◆「宇都宮市大谷石文化推進協議会」を核とする官民連携の促進 ⇒ 「宇都宮市大谷石文化推進協議会」を核とした大谷石文化の魅力発信事業の実施 4月 大谷石文化ホームページ・インスタグラム・ツイッターによる情報発信 本庁舎市民ホールで大谷石文化パネル展開催 6月 「宇都宮市大谷石文化推進協議会」総会を開催 8月 国内メディア等を対象にモニターツアー開催【3社参加】 9月 海外メディアを対象にモニターツアー開催【3社参加】 文化財巡り in 大谷開催【34人参加】 10月～ 日本遺産認定記念企画展「大谷石文化の源流を探る」を上河内民俗資料館で開催 日本遺産サミット in 高知へ参加 10月～ 大谷石文化伝え方（ガイド養成）講座開催【10～11月，4回，49名受講】 11月 日本遺産大谷石文化の構成文化財を巡るウォークラリー開催【81人参加】 11月～ 大谷石文化学講座開催【11～12月，6回，118名受講】 12月 石のまち宇都宮シンポジウム開催【300人参加】 石のまち宇都宮エクスカッション開催【40人参加】
11	戦略的な観光事業の推進 ●本市ならではの魅力を活かした国内外からの誘客促進 ●アフターデスティネーションキャンペーンの推進と官民連携による継続的な観光振興	●本市ならではの魅力を活かした国内外からの誘客促進 ◆餃子やジャズ、カクテルなどの観光資源の更なる磨き上げと活用 ⇒ 餃子通りの整備 4月 餃子通り電柱への餃子オブジェの設置 8月～餃子通りマンホールカードの配布 ⇒ ジャズやカクテルを活用した夜の観光の強化 4月～餃子・ジャズ・カクテル共通チケットの販売 5月～カクテルバーを巡るツアーの実施 著名なミュージシャンによるジャズライブの開催 11月 若山農場ライトアップ点灯式での夜の観光PR

	(観光交流課) (都市魅力創造課)	11月・1月 カクテルバーを巡るツアーの実施 ◆各種イベント等を活用した効果的な情報発信 ⇒ 市内外での各種イベントにおける本市観光PR 4月 餃子祭り in YOKOHAMA【来場者数：135,000人】 5月 大宮鉄道ふれあいフェア【来場者数：22,000人】 9月 はこだてグルメサーカス【来場者数：206,000人】 10月 ふるさと観光展 in 仙台駅への参加 JAPAN CUP サイクルロードレースクリテリウム【来場者数：50,000人】 ツーリズムEXPOジャパン【来場者数：151,099人】 11月 3x3ワールドツアーでの観光PR【来場者数：78,000人】 宇都宮餃子祭りでの観光PR【来場者数：170,000人】 1月 ふるさと祭り東京での観光PR【来場者数：443,237人】 ◆海外プロモーションによる国外からの誘客促進 ⇒ 観光プロモーションの実施及び外国人観光客の受入体制の整備 6月 香港における海外プロモーションの実施 8月～11月 大谷地域への多言語音声ガイドの導入 9月 タイにおける海外プロモーションの実施 10月～外国人周遊分析調査の実施 JR日光線いろはへの車内広告の掲載 スマートフォン専用サイトでのPR【ページレビュー数：約4,600(1月末現在)】 1月 タイにおける海外プロモーションの実施 ●アフターデスティネーションキャンペーンの推進と官民連携による継続的な観光振興 ◆誘客促進に向けた様々な主体による魅力的な事業の展開 ⇒ アフターDCにおける官民連携特別企画の実施 4～6月 ・大谷でのライトアップの実施 ・大谷イシキリテラスでのイベントの開催【参加者数：約40人】 ・宮のSAKEフェスの開催【来場者数：3,000人】 ・大谷地域等を巡るサイクルツアーの実施 ・あさごはんフェアの開催【朝食会場使用人数：約22,000人】 ・大谷周辺地域3か所を巡る周遊バスの運行(4/27～5/6 各日9便運行) ・餃子・ジャズ・カクテル共通チケットの販売 ・カクテルバーを巡るツアーの開催 ・著名なミュージシャンによるジャズライブの開催 ・臨時観光案内所での観光案内の実施 ⇒ 市内外でのプロモーション及び観光PR活動の実施 4月 街なか商業施設での観光PR 5月 宇都宮競輪場70周年記念GⅢレースでの観光PR 6月 東京ソラマチでのプロモーション 4月～6月における観光客入込数及び宿泊者数 <table border="1"> <tr> <td></td><td>目標値 H30(DC)</td><td>H31(アフターDC) H28(DC開催前)</td></tr> <tr> <td>観光客入込数</td><td>約355万人</td><td>約356万人 (約338万人)</td></tr> <tr> <td>宿泊者数</td><td>約40万人</td><td>約41万人 (約36万人)</td></tr> </table> ※H31は速報値 ◆官民連携による継続的な観光振興の仕組みづくり ⇒ 推進体制の検討 7月 宇都宮市DC推進委員会の開催 8月～宇都宮市DC推進委員会を継承する組織の検討		目標値 H30(DC)	H31(アフターDC) H28(DC開催前)	観光客入込数	約355万人	約356万人 (約338万人)	宿泊者数	約40万人	約41万人 (約36万人)
	目標値 H30(DC)	H31(アフターDC) H28(DC開催前)									
観光客入込数	約355万人	約356万人 (約338万人)									
宿泊者数	約40万人	約41万人 (約36万人)									
12	魅力ある景観づくりの推進 ●LRT沿線における景観形成の推進 ●大谷地域の景観形成重点地区指定に向けた取	●LRT沿線における景観形成の推進 ◆LRTの車両及び軌道空間と調和した魅力的な沿線景観の創出 ⇒ LRT沿線における景観形成手法の検討 7月～ 景観特性・景観資源等の調査・分析 11月 「LRT沿線の景観形成方針(素案)」について景観審議会において審議									

	組の推進 ●大谷石建築物の保全・活用の推進 (景観みどり課) (L R T企画課) (L R T整備課) (建設用地室) (都市魅力創造課) (文化課)	●大谷地域の景観形成重点地区指定に向けた取組の推進 ◆大谷地域の景観形成重点地区指定に向けた地元の理解促進 ⇒ 景観形成重点地区(大谷地区)指定に向けた合意形成 5月 第5回大谷地区景観づくり推進協議会 6月～ 沿道住宅・市街地エリア合同部会(2回) 観光拠点エリア部会(2回) 8月 第6回大谷地区景観づくり推進協議会 ●大谷石建築物の保全・活用の推進 ◆大谷石建築物の保全・活用による、本市ならではの景観の保全・創出 ⇒ 大谷石建築物の保全・活用に向けた方策の検討 7月～ 建築物実態調査(現地調査) 所有者意向調査(アンケート調査)
--	--	---

V 「産業・環境の未来都市」の実現に向けて（産業・環境 分野）

No	項目 ○進行管理対象内容 (所管課)	●令和元年度の主な事業内容 ⇒令和元年度事業内容の達成のための取組（１月末現在）
13	持続的な産業振興の推進 ●雇用就労の促進 ●産業集積と地域経済循環の促進 ●中小企業振興の推進 (商工振興課) (産業政策課)	●雇用就労の促進 ◆就職マッチング事業における女性・高齢者の就職率向上と定着促進 ⇒ 就職マッチング事業の実施 ５月 事業委託業者の選考・決定 ７月～ 第１期生事業実施【参加者数：高齢者コース７名，女性コース１０名】 【就職者数：高齢者コース３名，女性コース７名】（１月末現在） １０月 第２期生募集 １１月～ 第２期生事業実施【参加者数：高齢者コース９名】 ◆若者の雇用促進・定着のための事業者向けセミナーにおける企業の人材確保に資する情報発信と周知啓発の強化 ⇒ 人材確保・定着促進のための事業所向けセミナー ７月 第１回開催（企業のための外国人受け入れセミナー）【参加者数：３４社 ４２名】 １０月 第２回開催（社員の能力開発×即戦力の確保に活用できる助成金セミナー） 【参加者数：１９社 １９名】 ◆将来の市内就職促進事業における民間活力等を活用した効果的・効率的な事業の実施 ⇒ 将来の市内就職促進事業 ７月 「じぶん×未来フェア」の開催 【参加者数：来場高校１０校（※），市内企業・団体３２ブース，大学・専門学校１３ブース】 ※ 授業の一環として学校単位で参加，このほか生徒自由参加の高校あり (来場生徒総数２，２５２名)
		●産業集積と地域経済循環の促進 ◆新たな産業集積・立地促進策の検討 ⇒ 宇都宮市リーディング企業支援事業の推進 ４月 宇都宮市リーディング企業支援事業の制度開始 １１月 宇都宮市リーディング企業認定式の開催【認定企業６社（１月末現在）】 ⇒ 産業団地開発に向けた検討 ４月～ 産業団地の開発に向けた候補地の検討 民間事業者からのヒアリング等の実施 １月～ 民間事業者による産業団地開発に係る関係制度の改正の実施 ⇒ 空き工場用地バンクの運用 ～１０月 空き工場用地バンクの登録【実績１件】 １１月 宇都宮市企業誘致セミナーin 東京の開催【６８社，１３０名参加】
		●中小企業振興の推進 ◆うつのみや中小企業応援プランの推進 ⇒ 懇談会の設置・開催 １０月 「うつのみや中小企業応援プラン推進懇談会」の設置（委員１１人，年２回開催予定） 第１回懇談会開催（各団体を取り巻く現状と課題について） ◆中小企業のＩＣＴ利活用の促進 ⇒ ＩＣＴ利活用促進セミナー ４月～ 毎月１回開催【参加者数：累計３４名（１月末現在）】 ⇒ ＩＣＴ利活用促進補助制度の周知，交付申請受付 ４月～ 申請受付【受付件数：２件（１月末現在）】 ⇒ 軽減税率・ＩＣＴ利活用説明会 ６・７月 市内５カ所にて開催【参加者数：合計５２名】 ⇒ キャッシュレス・消費者還元事業者説明会 ８月 セミナー開催【参加者数：８４名】 ◆関係機関と連携した事業承継の促進 ⇒ 経営者のための事業承継セミナーの実施 ６月 第１回開催【参加者数：３６名】 １１月 第２回開催【参加者数：４５名】 ⇒ 専門家（支援者）のための事業承継セミナー ８月 セミナー開催【参加者数：９７名】

14	「農業王国うつのみや」の推進 ●稼げる農業経営体の確保・育成 ●農業の生産力の向上 ●農業の販売力の向上 (農業企画課) (農林生産流通課) (都市魅力創造課)	●稼げる農業経営体の確保・育成 ◆企業的経営を取り入れた経営モデルの構築 ⇒「発展的経営モデル」の作成 6月～ 全国の取組事例の情報収集・分析、関係機関との意見交換 7月～ 中小企業診断士・優良経営体等へのヒアリング 「稼げる農業経営体」へのステップアップに向けた支援策（伴走型支援）の検討 ◆第三者継承の促進 ⇒ 第三者継承に係る経営移譲希望者の情報収集及び継承支援 4月～ J A等を通じた第三者継承に係る経営移譲希望者の情報収集 8月 J A広報紙における事業PR 10月 経営移譲希望者へのヒアリング、経営移譲カルテの作成 11月 農業大学校における事業PR 12月 経営移譲希望者（1経営体）に対する経営継承までのスケジュールの調整 1月 「新・農業人フェア」（東京）における就農希望者への事業PR ●農業の生産力の向上 ◆水田再整備・大区画化の促進 ⇒ 水田再整備・大区画化に係る機運醸成・事業の促進 4月～ 豊郷・横川地区の地域会合における事業PRの実施 7月 事業PRチラシ（暫定版）の作成 上横田地区における取組意向の確認 8月 農地耕作条件改善事業の実施に係る国庫補助事業の採択申請 ◆夏秋いちごの安定した生産体制の確立 【人・農地】 ⇒ 夏秋いちごの産地化に向けた農地の確保・企業参入支援（大谷地区） 4月～ 夏秋いちごの産地化に向けた地元説明 地権者と耕作者との農地利用調整 6月 参入企業の生産開始に向けた営農計画の作成支援 7月～ ほ場整備の実施に向けた基礎調査等の実施 8月 農地耕作条件改善事業の実施に係る国庫補助事業の採択申請 10月 事業計画概要（案）の作成 11月 ほ場整備に係る地元説明会の開催及び共同施行体の設立 12月 土地改良法に基づく事業認可申請 【技術】 ⇒ 品質向上・収量増加に向けた実証栽培の実施 4月～ 大谷夏秋いちごの生産の課題の確認と対応策の検討、生産者ヒアリングの実施 7月 第1回農業技術高度化研究会において、実証栽培の内容を検討 10月～ 電照による生産性向上の実証栽培の開始 10月～1月 生育調査の実施 1月 実証栽培の効果検証を開始 ◆露地野菜の生産拡大 ⇒ 露地野菜の販路拡大等の支援 ⇒ モデル事業の実施支援と新たな取組の掘起し ⇒ 水田フル活用による露地野菜生産の課題の整理と支援策の検討 4月～ 園芸用作業機械導入補助及び産地づくりモデル地域育成事業（さつまいも、たまねぎの生産拡大）の開始 7月 露地野菜生産における課題について水稻農家にヒアリングを実施 8月 ねぎの生産拡大のための産地づくりモデル地域育成事業基本構想策定支援 12月 たまねぎの推進方策について、県・J Aとの意見交換の実施 1月 新たな露地野菜の産地づくりに向けた農業者との意見交換及び産地化の方向性の確認 【実績】 ・ 園芸用作業機械導入補助 3件 ・ 露地野菜の生産状況（作付面積）5.9ha増 ◆農業者へのICT機器の普及促進 ⇒ ICT機器の導入支援 4月～ ICT機器導入補助の開始 8月 ICT機器の栽培管理への新たな活用方法の調査、検討 12月 ICT機器の普及に向けた効果的な取組について関係機関との意見交換及び推進方策の確認 1月末補助実績：ICT機器導入補助（畜産：1件、園芸：3件）
----	---	---

		●農業の販売力の向上 ◆ブランド力の向上と販路拡大 ⇒ ブランド農産物認定に向けた取組 ⇒ 宇都宮産農産物販路拡大に向けた検討 4月 ブランド農産物の認定要領及び統一マークの使用要領の策定 4月～ 販路拡大ミーティングの開催（４・７・１０月） 5月～ 市内実需者に対し地産地消マッチング事業の案内及びヒアリングの開始 タイへの輸出に向け生産者と調整を開始 8月 販売力向上講座の開催（参加者３２名） 9月 沖縄県における宇都宮産農産物のPR及び実需者に対し宇都宮産農産物の紹介と意見交換を実施 10月 ブランド農産物の認定（新里ねぎ、宮ゆず、宇都宮ブリッツェン米） 農産物販路拡大セミナーの開催（参加者３５名） 12月 販売力向上講座の開催（参加者２０名） 12月～ タイにおける宇都宮産農産物（にっこり・スカイベリー）の販売 1月 沖縄県内実需者に対し、宇都宮産農産物の取引の可能性についてヒアリングを実施 新里ねぎの包装袋で統一マークを使用
15	低炭素化の促進 （環境政策課） （地域政策室） （交通政策課） （LRT企画課） （LRT整備課）	◆トランジットセンター及びトランジットセンター周辺街区における最適な低炭素化策の推進 5月～ トランジットセンターへの低炭素設備の導入手法、スケジュール等の検討 12月 清原管理センター前TCへの低炭素設備導入の方向性について整理 ◆地域新電力に係る官民協働を見据えた事業スキーム、運営体制の検討 6月 環境省への補助事業申請（地域新電力） 8月 環境省補助事業採択（地域新電力） 10月 地域新電力会社設立に係る民間事業者との連携・協力手法等の検討 11月 事業者アンケート調査、ヒアリングの実施 事業性の評価、事業収益の還元方策の検討
16	廃棄物処理施設の整備推進 ●新中間処理施設（仮称） 新北清掃センターの整備推進 ●新最終処分場（仮称） 第2エコパークの整備推進 （廃棄物処理施設整備室）	●新中間処理施設（仮称）新北清掃センターの整備推進 ◆計画的かつ円滑な施設整備の着実な推進 ⇒ 建設工事の実施と市民に対する進捗状況報告 4月～ 建設工事（H29年10月～） 工事進捗状況周知（ホームページ等） 10月 施設名称の決定（クリーンセンター下田原） 11月～ 試運転（動作確認、焼却状況確認等） ※ 令和2年4月～ 市民のごみ受入れ開始 ●新最終処分場（仮称）第2エコパークの整備推進 ◆計画的かつ円滑な施設整備の着実な推進 ⇒ 建設工事の実施と市民に対する進捗状況報告 4月～ 建設工事（H29年11月～） 工事進捗状況周知（ホームページ等） 10月 施設名称の決定（エコパーク下横倉） 11月～ 試運転（動作確認等） ※ 令和2年12月頃 供用開始予定

VI 「交通の未来都市」の実現に向けて（都市空間・交通 分野）

No	項 目 ○進行管理対象内容 (所管課)	●令和元年度の主な事業内容 ⇒令和元年度事業内容の達成のための取組（１月末現在）
17	立地適正化計画等の推進 ●都市機能等の適正な誘導推進 (都市計画課) (市街地整備課) (住宅課)	●都市機能等の適正な誘導推進 ◆都市機能等誘導策の展開・充実 4月～ 都市機能誘導に資する補助申請に向けた事業者との事前協議等の実施 ネットワーク型コンパクトシティのまちづくり等に関する出前講座等の開催 11月 誘導策の充実に向けた民間事業者等への聴き取り調査 12月 都市機能誘導に資する補助申請の受理 ◆市街化調整区域における地区計画制度の活用促進に向けた地域の取組支援 4月～ 地区計画制度の活用に向けた地元組織の取組支援(国本西小学校周辺地区) 地区計画制度等を活用したまちづくりに関する出前講座の開催（平石地区） 地区計画制度の活用に関する事業者からの相談対応 7月～ 清原東小学校周辺における地区計画決定に向けた都市計画手続き（縦覧等） 10月 清原東小学校周辺における地区計画に関する都市計画決定(都市計画審議会の開催) 11月 国本西小学校周辺まちづくり懇談会において開発協力事業者の選定 ◆居住誘導区域への居住の促進 4月～ 移住定住アプリ等による周知活動の展開 住宅取得，家賃補助等の申請受付開始 5月～ 借上げ公営住宅導入に向けた住宅施策の検討
18	中心市街地活性化の推進 (地域政策室) (市街地整備課)	◆「第２期中心市街地活性化基本計画」に基づく活性化事業の推進 ⇒ 官民一体となった中心市街地活性化事業の推進 4月～ 各種中心市街地活性化事業の実施（オープンカフェ事業，かまがわ川床桜まつりの開催，賑わい効果測定事業の実施，中心商業地出店等促進事業，フレッシュマン・若年夫婦・子育て等世帯家賃補助など） 7月 中心市街地活性化協議会総会の開催（第２期計画の進捗と評価等に係る意見聴取） 9月 中心市街地活性化協議会による「宇都宮街なか元気プロジェクト支援事業」の募集 10月 「宇都宮街なか元気プロジェクト支援事業」の決定（対象団体：宇都宮大学ほか２団体） 11月～ うつのみやイルミネーション２０１９の実施（１月１５日まで） ◆新たな「中心市街地活性化基本計画」の策定 ⇒ 計画策定に向けた中心市街地活性化協議会等への意見聴取の実施 7月 中心市街地活性化協議会総会の開催（第２期計画の進捗と評価を踏まえた新たな基本計画の方針等に係る意見聴取） 8月～ 民間事業者や関係団体等へのヒアリングの実施（計画の方向性や計上事業等について意見聴取） 11月～ 中心市街地活性化協議会幹事会の開催（計画内容や計上事業，推進体制等について意見聴取） ◆民間主体による低・未利用地の利活用促進に向けたモデル事業の実施 ⇒ モデル事業の実施を通じた利活用の促進 6月 モデル事業の実施に向けたプレイベントの実施 7月～ モデル事業の実施内容に関する検討（民間事業者，まちづくり推進機構等との協議等） 10月 モデル事業の実施に係る地元住民，周辺商店街等への事前周知の実施 11月～ モデル事業の実施（１月１５日まで）(釜川沿いの公共空間やコインパーキングを活用した交流促進社会実験の実施) ◆東武宇都宮駅周辺地区におけるまちづくりの推進 ⇒地元のまちづくり機運の醸成 4月～ 地元関係団体である「みやヒルズ活性化委員会」と東武宇都宮駅周辺地区のまちづくりに関する意見交換を実施 7月～ 「みやヒルズ活性化委員会」における「まちづくり勉強会」の実施（５回開催） 11月 「みやヒルズ活性化委員会」における先進地（富山市）視察の実施

19	J R宇都宮駅西口周辺地区の整備推進 (市街地整備課) (交通政策課) (地域政策室) (L R T企画課) (都市計画課)	◆駅前広場計画の検討及び、駅前広場の再整備に向けた関係者との協議・調整 ⇒ 「交通結節点等基盤整備部会」の設置・検討 7月～ L R T計画と連携した駅西口周地区整備の検討 ⇒ 「L R Tまちづくり部会」の設置・検討 9月～ L R T導入を契機としたJ R宇都宮駅西口のまちづくりの検討 ◆周辺まちづくりの円滑な推進 ⇒ 市街地再開発事業検討地区の地元組織「J R宇都宮駅西口地区まちづくり協議会」への活動支援等 5月～ 協議会へのコンサルタント派遣による活動支援 7月～ 協議会との市街地再開発事業等についての意見交換
20	J R宇都宮駅東口地区整備の推進 (駅東口整備室)	◆立地施設の整備 ◆コンベンション施設への誘致活動の実施 5月～ コンベンション施設への誘致活動の開始 7月 都市計画用途地域の変更（特例容積率適用地区の指定）、地区計画の変更（交流広場の位置、規模の変更） 10月 自転車駐車場売買契約の締結、工事着工 11月 交流広場の基本設計完了 12月 コンベンション施設の基本設計完了
21	公共交通ネットワークの充実 ●駅東側のバス路線の再編・新たな運賃制度の確立 ●交通ICカードの導入 (交通政策課) (L R T企画課) (L R T整備課)	●駅東側のバス路線の再編・新たな運賃制度の確立 ◆バス事業者との合意形成 ⇒ 駅東側のバス路線再編に向けた協議・調整 4月～ 既存路線を含む再編後のバス路線全体の運行経路、運行本数、運行ダイヤ等の詳細に関するバス事業者との個別協議の実施 8月～ バス事業者の意見を踏まえた再編後のバス路線の運行経路、運行本数、運行ダイヤ等の見直し ⇒ 新たな運賃制度の確立に向けた協議・調整 4月～ 上限運賃制度の設定金額や適用時間帯などの新たな運賃制度の詳細に関するバス事業者との個別協議の実施 ◆関係機関等との協議・調整 ⇒ 駅東側のバス路線再編に向けた協議・調整 4月～ 市域を越えて運行する広域バス路線についての再編後の運行経路・運行本数等に関する関係市町との協議の実施 4月～ 再編後のバス路線における新規需要の取り込みに向けた、通勤・通学用の貸切バスを運行する企業・教育機関へのヒアリング調査の実施 5月～ 関係市町や貸切バスを運行する企業・教育機関などの意見を踏まえた再編後の運行経路・運行本数等の見直し ⇒ 新たな運賃制度の確立に向けた協議・調整 7月～ バスの上限運賃制度等の制度内容に関する周辺市町との意見交換の実施 ◆行政支援策の検討 ⇒ 駅東側のバス路線再編の円滑な実施や再編後のバス路線の維持・存続に資する行政支援策の検討 4月～ 再編実施にあたってバス事業者が抱えるリスクや再編後のバス路線を維持・存続するための行政支援のあり方の検討 8月～ バス路線全体の維持・充実にに向けた新たな市単独補助制度の制度内容に関する検討 ⇒ 新たな運賃制度の確立に向けた行政支援策の検討 4月～ バス利用者の運賃負担軽減策の実施に係る行政支援のあり方についての検討

		●交通ＩＣカードの導入 ◆地域独自サービスの実施に向けたシステムの構築 ⇒ 地域独自サービスを合理的に展開するために相応しいカード種別の決定 ４月～ 宇都宮地域に導入する交通ＩＣカードの比較検討 ７月 「地域連携ＩＣカード」導入についての交通事業者等との合意 ⇒ ＬＲＴの運賃収受方法の決定 ４月～ ＬＲＴの運賃収受方法の検討 ８月 ＬＲＴの運賃収受方法を「ＩＣカード」と「現金」に決定 ⇒ 地域独自サービスに対応したシステムの構築 ４月～ バス利用者の運賃負担軽減策や高齢者・障がい者等の移動支援事業などの地域独自サービスの内容整理 ８月～ 地域側のサーバーや車載器などのシステム及び機器の設計・開発 ◆バスの乗降環境の整備 ⇒ バス乗降方法の「中扉乗車・前扉降車」への移行のためのバス停留所付近の道路改良（支障物の移設・撤去等）に係る関係者との調整 ４月～ 市内及び周辺市町における要改良箇所・改良費用の精査 １０月 国・県及び周辺市町への道路改良に関する協力要請 ◆カードの名称や券面デザインの決定 ⇒ カード名称・券面デザインについての交通事業者との協議・調整 ８月～ 交通事業者で構成する「宇都宮ＩＣカード導入検討協議会」における名称及びデザインの選定手法等の検討
22	ＬＲＴ整備の推進 ●ＪＲ宇都宮駅東側のＬＲＴ整備 ●ＬＲＴ沿線の土地利用の推進 ●ＪＲ宇都宮駅西側のＬＲＴ導入 ●ＬＲＴ事業に関する市民理解の促進 （ＬＲＴ企画課） （ＬＲＴ整備課） （建設用地室） （都市計画課） （市街地整備課） （地域政策室）	●ＪＲ宇都宮駅東側のＬＲＴ整備 ◆優先整備区間におけるＬＲＴ整備の計画的な実施 ⇒ ＬＲＴの整備 ４月～ ＬＲＴ整備工事 ・鬼怒川橋りょう工事（前年度から継続） ・鬼怒川周辺の高架橋工事（Ⅱ） ・車両基地造成工事（Ⅱ） ５月～ 陽東地区内の中央分離帯撤去等工事 ７月 第１回交通結節点等基盤整備部会の開催（検討フロー等） 第１０回ＬＲＴ車両部会の開催（運賃収受方法等） ８月～ 野高谷高架区間の工事 清原工業団地内の道路工事 ８月 第２３回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催（ＬＲＴ停留場の名称選定等） 第２回交通結節点等基盤整備部会の開催（駅東側区間における交通結節点の検討等） １０月 第３回交通結節点等基盤整備部会の開催 １１月～ ゆいの杜付近の中央分離帯撤去等工事 １１月 第４回交通結節点等基盤整備部会の開催 第１４回ＬＲＴデザイン部会の開催（停留場壁面の個性化について等） 第１回芳賀・宇都宮ＬＲＴ停留場名称検討委員会の開催（名称選定に係る基本的な考え方について等） １２月～ ＬＲＴ車両部品の調達等 車両基地検修庫新築工事 峰・陽東地区内の中央分離帯撤去等工事 １２月 第２４回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催（ＪＲ宇都宮駅東側の工事の進捗状況について等） ＬＲＴ沿線の土地利用の推進 ◆ＬＲＴ沿線への民間誘導等の促進 ⇒ 平出町トランジットセンターゾーンの土地利用についての検討等 ７月～ 平出町トランジットセンターゾーン整備事業における機能導入の可能性に係る調査の実施 ◆ＬＲＴを契機とした中心市街地等のまちづくりの推進 ⇒ 「ＬＲＴまちづくり部会」の設置・検討 ９月～ 「ＬＲＴまちづくり部会」を設置し、市民・事業者・行政で共有できる沿線まちづくりのビジョンを検討 ９月 第１回ＬＲＴまちづくり部会の開催（「ＬＲＴまちづくり部会」の設置について等） １２月 第２回ＬＲＴまちづくり部会の開催（ＬＲＴまちづくり方針について等）

		● J R宇都宮駅西側のL R T導入 ◆ J R宇都宮駅西側L R Tの事業化に向けた検討 ⇒ 事業化に向けた交通結節点等の検討及び地元商店街等との意見交換 6月 「宇都宮中心商店街みやヒルズ活性化委員会」及び「宇都宮中心商店街活性化委員会（バンパコミッション）」との意見交換会（第3回） 6月～ 駅横断部における軌道概略設計の実施 7月 第1回交通結節点等基盤整備部会の開催（再掲） 8月 第23回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催（再掲） 第2回交通結節点等基盤整備部会の開催（再掲） 9月 「宇都宮中心商店街みやヒルズ活性化委員会」及び「宇都宮中心商店街活性化委員会（バンパコミッション）」との意見交換会（第4回） 第1回L R Tまちづくり部会の開催（再掲） 10月～ 交通影響評価の実施 10月 第3回交通結節点等基盤整備部会の開催（再掲） 11月～ J R宇都宮駅西側L R T事業化に向けた検討調査業務の実施 11月 第4回交通結節点等基盤整備部会の開催（再掲） 12月 第24回芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会の開催（再掲） 第2回L R Tまちづくり部会の開催（再掲） 1月 「宇都宮中心商店街みやヒルズ活性化委員会」及び「宇都宮中心商店街活性化委員会（バンパコミッション）」との意見交換会（第5回） ● L R T事業に関する市民理解の促進 ◆ L R T事業の進捗に合わせた効果的な情報発信と市民協働の取組 ⇒ 情報発信と市民協働の取組 4月～ ・ 広報うつのみやへの記事掲載（毎月） ・ 本庁舎1階ガラスブースの展示 ・ 市ホームページ、L R T専用ホームページの随時更新 ・ 交通未来都市うつのみやオープンスクエア運営 【累計来場者数293, 236人（1月末）】 ・ オープンスクエア公式F a c e b o o kの運営 ・ 市政情報番組（ラジオ）を通じた発信 ・ 出前講座の実施（随時） ・ L R Tラッピングバスの運行 ・ バンパビジョン等での事業P R動画上映 ・ 市民応援団t e a mN E X Tの募集（随時）【実績8, 454人（1月末）】 ・ t e a mN E X Tメンバーへのメルマガ配信（随時） ・ 沿線地区を対象とした工事現場見学会の開催（4月～） ・ 工事情報v o l. 7～14の発信（4～1月） 5月 ・ F Mラジオ広告による工事情報発信 ・ 「クルマとL R Tのルールv o l. 1」配布 6月 ・ オープンスクエア工事情報コンテンツの強化 8月 ・ 令和元年度の富山市へのL R T体験見学会の開催（～3月末を予定） ・ オリオン通りへのL R T事業フラッグ掲示開始（～開業までを予定） ・ オープンスクエアに臨場感のあるL R Tジオラマ（長さ4メートル×幅90センチ）の設置 9月 ・ 秋口の集客イベント開催に連動したオープンハウス出展の開始（～11月） 10月 ・ 「L R Tの乗り方」チラシ配布 ・ 新啓発資料「PROJECT “NEXT”」、クリアファイル、シールの配布 11月 ・ 第14回L R Tデザイン部会の開催（再掲） ・ 第1回芳賀・宇都宮L R T停留場名称検討委員会の開催（再掲） ・ 民間20店舗と協働したL R T事業P Rキャンペーンの実施 12月 ・ 工事現場市民見学会（鬼怒川橋りょう区間）の参加者の募集（2月に工事現場市民見学会を開催）
--	--	---

23	(仮称)大谷スマートＩＣの整備 (道路建設課) (建設用地室)	◆円滑な事業の推進 ⇒ 都市計画事業認可の取得，用地取得の推進 ４月～ 都市計画事業認可に向けた関係機関との協議・調整 ９月 都市計画事業認可の取得 宝木・城山地区の自治会長を対象とした説明会の開催 １１月 宝木・城山地区の住民等を対象とした説明会の開催 １２月～ 用地測量業務委託 １月 整備目的や整備効果等についてホームページに掲載
----	--	--

■ 「行政経営基盤の強化」に向けて（行政経営 分野）

No	項 目 ○進行管理対象内容 （所管課）	●令和元年度の主な事業内容 ⇒令和元年度事業内容の達成のための取組（１月末現在）
24	地域情報化の推進 (情報政策課) (行政改革課)	◆地域社会の活性化に向けたＩＣＴ利活用方策の充実，着実な推進 ⇒ 第４次情報化計画等に基づく重点事業等の着実な推進 ５月 第４次情報化計画の８つの重点事業のほか，ＡＩ・ＲＰＡなどの新たなＩＣＴの活用推進などの取組を進めることを決定 ６月～ ＡＩ，ＲＰＡ，５ＧなどＩＣＴを活用した新規拡充事業・見直し業務の検討 ９月 作業時間縮減に向けた，申請書の入力業務等におけるＲＰＡ導入実証に係る補正予算議決 １１月 ＲＰＡ導入実証事業者の決定・契約 １月～ ＲＰＡ実証運用（“子ども家庭課”“子ども発達センター”“建築指導課”が所管する３業務で実施） ⇒ スマートフォン等のモバイル端末を活用した，子ども子育て分野におけるＡＩ自動応答サービス試行運用の着実な実施 ７月 実証業務委託 公募型プロポーザル開始 ９月 契約候補者決定・契約，回答作成開始 １１月～ 試行運用（１１／２６～） ⇒ 窓口におけるＩＣＴ利活用の推進 ４月～ 窓口業務における待ち時間解消等に向けたＩＣＴ活用について検討 ６月 円滑な窓口対応に向け，本庁舎内４箇所で「外国人向け音声翻訳タブレット」の活用開始 １２月～ 市民課業務におけるＩＣＴ活用について検討 ⇒ スマートシティモデル事業への参画によるＩＣＴを活用したまちづくりの推進 ５月 グリーンスローモビリティ等による実証実験 ８月 自動運転可能な車両等による実証実験の実施 ９月～ 「スマートシティ推進プロジェクトチーム」の設置及び新たな取組の検討 １１月 ３Ｘ３イベントにおけるアプリを活用した周遊促進や顔認証技術を活用したキャッシュレス決済に係る実証実験の実施